

IV. 社会的貢献活動（見学および体験学習）

1) 3月12日 大谷中学校（湯浅農場）

2年生 26名，引率教員 2名

午前，附属農場の概要について柑橘を中心に説明した後，2班に別れマンゴーハウス，ウメほ場，ミカンほ場および農業機械の見学を実施した．ミカンほ場では昨年の台風の影響が残っており，その被害の説明に生徒たちは熱心に耳を傾けていた．午後からは柑橘遺伝資源保存園の説明後，果実の収穫体験を行った．多種多様の柑橘を収穫し，それぞれの形や色の違いを見比べていた．また，収穫した果実の香りを楽しむ姿も印象的であった．



マンゴーハウスの見学



ミカンほ場の見学



柑橘収穫体験の説明

7月25日

3年生 28名，引率教員 2名

3月12日に見学した生徒が3年生となり，再び湯浅農場に見学や体験のため来場した．午前中にマンゴーハウスやミカンほ場および農業機械の見学を行い，春先からの植物の変化を真剣に観察している様子が見られた．

午後からはマンゴーの収穫ネットかけとミカンの摘果体験を行った．マンゴーの収穫ネットかけでは，マンゴーの色や匂いに興味を示し，活発に体験を行っていた．実を傷つけないように慎重にマンゴーに接している様子が印象的であった．真夏の猛暑の中，慣れない摘果作業に苦戦しながらも，一生懸命に励んでいた．



農場概要の講義



農業機械の見学



マンゴーの収穫ネットかけ体験

2) 6月3日 初芝立命館中学校（湯浅農場）

3年生 36名，引率教員 3名

ウメほ場，マンゴーハウス，ミカンほ場，柑橘遺伝資源保存園および農業機械の見学を行った。ウメほ場では果実の着いたウメの樹を見て加工品になるまでの説明を行うことで知識を深めた。マンゴーハウスではマンゴーの未熟果実をカットし，断面を見せることで無核果の説明を行った。生徒たちは果実の中身の様子や種の有無に関心を寄せており大変盛りあがった。農業機械には実際に座って雰囲気味わうことができ，とても満足した様子であった。



ミカンほ場の見学



柑橘遺伝資源保存園の見学



見学後の挨拶

3) 7月29日 近畿大学附属中学校（湯浅農場）

2年生 32名，引率教員 4名

附属農場の概要を説明した後，マンゴーハウス，ミカンほ場，農業機械および柑橘遺伝資源保存園の見学を行った。農場概要の講義では熱心にメモをとる様子が見受けられ，学習意欲の高さが伝わってきた。柑橘遺伝資源保存園の見学では見たことのない多種多様の果実に目を輝かせていた。各ほ場の説明後の自由な見学時にはタブレットで柑橘や農業機械の写真を撮り，生徒間で情報共有することで学習の幅を広げていた。



農場概要の講義



ミカンほ場の見学



タブレットを用いて写真撮影をしている様子

4) 7月30日～7月31日 奈良育英中学校（湯浅農場）

1年生 9名，引率教員 2名

7月30日に附属農場の概要を説明し，その後，ウメほ場，マンゴーハウス，ミカンほ場および柑橘遺伝資源保存園の順に見学を行った．ミカンほ場では摘果体験を行った．最初のうちは苦戦していたが，ひとりずつ丁寧に説明することで徐々に摘果作業に慣れていき，楽しそうに行っていた．

7月31日は午前中にマンゴー収穫体験，農業機械の見学後，午後から梅シロップ作り体験を実施した．マンゴーの収穫では，樹上のマンゴー果実の甘い匂いを感じ，次々とマンゴーを収穫している姿が印象的であった．梅シロップ作りの際には出来上がりのシロップを想像しながら，熱心にシロップ作りをしているように思えた．充実した2日間の経験は，普段の机上では味わえない参加体験型の学習となった．



摘果体験の説明



マンゴー収穫体験



梅シロップ作り体験

5) 9月13日 長浜バイオ大学（湯浅農場）

25名

附属農場の概要を説明した後，あいにくの雨ということもあり講義室で柑橘の詳しい説明を行った．その後，ミカンほ場，農業機械およびマンゴーハウスでの見学を実施した．実物の枝や葉を用い柑橘の説明を行うことで，実際に触って香りや質感を楽しんでいた．マンゴーハウスでは，普段目にするのことができない樹成りのマンゴーに大変関心を寄せており，説明を始めるとさらに魅了されていた．説明後には活発な質疑応答があり，専門的な知識や情報を吸収していた．



柑橘の説明



農業機械の見学



マンゴーハウスの見学

6) 11月6日 近畿大学附属新宮中学校（湯浅農場）

1年生 56名，引率教員 4名

附属農場の概要を説明した後，柑橘遺伝資源保存園とマンゴーハウスの見学を行った．最初の概要説明の講義からほ場での説明時まで，生徒たちはメモをとる等して熱心に聞き入っていた．柑橘遺伝資源保存園では，たくさんの果実を目の当たりにして，多くの質疑応答が繰り返され，興味津々であった．また，マンゴーハウスの見学では時期的に花や果実はなかったが，収穫後の樹から来年に向けての栽培過程を主に説明し，果実のない時期の作業の重要性を伝えた．



農場概要の講義



柑橘遺伝資源保存園の見学



マンゴーハウスの見学

2019年の見学および視察者数は第16表のとおりである。

第16表 見学および視察者

期日	団体名等	人数	視察内容
1月29日	個人見学者	2名	農場全体（湯浅農場）
2月25日	和歌山ノーキョー食品工業株式会社	6名	農場全体（湯浅農場）
2月27日	高砂香料工業株式会社、南海果工株式会社	3名	農場全体（湯浅農場）
3月12日	大谷中学校	28名	農場全体（湯浅農場）
3月25日	弓倉果園	2名	農場全体（湯浅農場）
6月3日	初芝立命館中学校	39名	農場全体（湯浅農場）
7月25日	大谷中学校	30名	農場全体（湯浅農場）
7月29日	近畿大学附属中学校	36名	農場全体（湯浅農場）
7月30日～ 7月31日	奈良育英中学校	11名	農場全体（湯浅農場）
8月21日	社会福祉法人きびコスモス会	3名	農場全体（湯浅農場）
8月21日	湖東八起き会	9名	農場全体（湯浅農場）
9月13日	和歌山県庁	11名	農場全体（湯浅農場）
9月13日	長浜バイオ大学	25名	農場全体（湯浅農場）
9月17日	有限会社エイチ・エム研究所	2名	農場全体（湯浅農場）
10月30日	有限会社浜地鐵工所	1名	農場全体（湯浅農場）
11月6日	近畿大学附属新宮中学校	60名	農場全体（湯浅農場）
11月7日	島根大学	2名	農場全体（湯浅農場）
11月22日	近畿大学農学部（自校学習）	80名	農場全体（湯浅農場）
	合計	350名	